

なめがたでキラリ輝く「ひと」

毎月1回、市立図書館にて行われている、小さいお子さん向けの「おいでえほんのたのしいじかん」の様子。



おおわともこ 大輪 智子さん (57歳)

Profile

読み聞かせグループ「ひまわりお話の会」代表。市立図書館や幼稚園、こども園などで絵本などの読み聞かせを行っている。ライフワークとして国連 NGO「WFWP Japan」の活動を約25年継続中。他にも和紙折り紙講師など多彩な活動も。五町田在住。

エプロンに付けられた人形に、子どもたちは興味津々。かわいい人形の動きと共に語られるエプロンシアター「おおきなかぶ」のお話を夢中で聞いているのが伝わってきます。

お話をしているのは、市内の読み聞かせグループ「ひまわりお話の会」の皆さんです。代表の大輪智子さんは、優しい語りで子どもたちをお話の世界へとご案内します。

「うんとこしょ、どっこいしょ。とうとうかぶは抜けまし

た！」と、最後に巨大なかぶがエプロンのポケットから飛び出すと、子どもたちから大歓声が。大輪さんが読み聞かせを始めるきっかけとなったのは、市立図書館で行われた「読み聞かせ講座」。受講しただけではもったいない、地域に活動の輪を広げようと、受講者仲間と結成したのがひまわりお話の会で、現在は6人が在籍しています。大型絵本や紙芝居、エプロンシアターにオカリナ演奏など、足かけ10年、子どもたちの笑顔を励みに楽しく活動してきました。

「私の子どもたちは、それぞれの年齢が近いこともあって、幼い頃は毎日が慌ただしく、ゆっくり絵本を読んであげる時間もなかったの。自分の子どもにしてあげられなかった分、地域の子どもたちに読み聞かせをしてあげたいと思って。子どもは『地域の宝物』だものね」と笑顔の大輪さん。

読み聞かせを通して感じるのは「子どもたちと接する時間はかけがえのないもの」ということ。同じ時間を共有しているだけで、子どもたちから元気をもたらしていると大輪さんは話しま

す。

また、ご自身が長年続けている国連 NGO「WFWP Japan」の活動では、行方支部長を務める大輪さん。平成22年には、お話の会の仲間たちと共に NGO が支援するエチオピアを訪問し、現地の子どもたちを手作り人形劇や昔話をしました。昨年末には秋田市市内の施設に出向き、オカリナ演奏や和紙折り紙講座を開催。子どもから大人まで大好評でした。

「どこに行っても、子どもたちが喜んでお話を楽しんでくれる姿がうれしい。『ひまわりのおばちゃん！』と迎えてくれる笑顔に会えるのがいつも楽しみで。もっと練習してすてきな読み聞かせをしたいと思うの」と大輪さん。

最後に「仕事や家事で毎日忙しいお母さんたちも、リラックサして子どもと一緒に楽しめることを見つけたいなと思います。お母さんが読みたい絵本を、親子で一緒に読んでみてください。きっと楽しい時間になりますよ」と優しくアドバイスをいただきました。

スマホでもっと楽しめる！市報なめがた デジタルブック！

▼市報に登場するこのマークに注目！



市報に掲載されていない画像や動画をご覧いただけます。右の QR コードから無料アプリ(カタボケ)でご覧ください。



このアイコンが目印



デジタルブックは7言語に対応
Delivering e-book in English
電子書籍以中文简体字发布
電子書籍以中文繁體字發布
한국어전자전송중
ในระหว่างการ จัดส่ง หนังสือดิจิตอล
Entregar e-book em Português

※ブラウザ版は音声読み上げや画像スライドショーには対応しておりません。無料アプリ(カタボケ)のインストールが必要です。

防災無線の情報が、市メールマガジンでも確認できます

下の QR コードから操作してください。

新規登録はこちら→
(空メール自動登録)



配信項目変更はこちら→

